



## 新行政区長 どうぞよろしくお祈いします

水田下行政区長 下川 綱義



水田下行政区長を受ける事になりました下川剛義です。よろしくお祈いいたします。

前任の下川博生区長様は8年間の長きにわたり、水田下行政区とコミュニティ協議会の為に尽力いただき、大変ありがとうございました。

私がその後をお引き受けするのは、大変身のひきしまる思いが致しますが、又何分不慣れの為、大変迷惑をかけると思っておりますが皆様のご協力のほどお祈い申し上げます。



常用東行政区長 宇野 晶



令和2年度常用東行政区長に就任いたしました宇野です。

令和2年度は、当初から新型コロナウイルスの感染拡大の真っ只中にあります。さらに、少子高齢化問題や多様化する災害への早急な対応が求められております。

これらの様々な困難に直面するなか、水田校区コミュニティ協議会を通じて、微力ではございますが、「住みよ安全・安心なまちづくり」に努力して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

## 水田天満宮の史跡を訪ねて 宮司 宮原 恭盛

水田天満宮ご祈願控室南側には、1075年ご神期大祭（昭和52年）記念として奉納された菅原道真公の銅像が建立され参拝者を見守っています。

台座は高さが2m70cm、菅原道真公の等身大と云われるご神像は冠・浅沓(あさぐつ)を含めては182cm、菅公自身は170cm位に推定されます。銅像は道真公が遣唐使に任ぜられた様子を再現したもので、右手には笏(しゃく)を持ち、左手は梅の小枝を持つ姿です。作者は当時大阪府守口市在住の彫刻家「黒岩淡哉」の作品で銅像裏側に八十翁淡哉作・花押の刻銘があります。

この銅像は当時、兵庫県西宮市に在住する旧水田村出身の野口市太郎(当時63才)の奉納で、野口氏は水田小学校卒業後、15才で大阪に行き貿易商八木福商会から大正11年に独立し大阪市に野口産業を創立、大阪在住50周年を記念し少年時代よりお世話になり信仰も深い水田天満宮に昭和33年10月24日に奉納されました。同日に羽犬塚駅に銅像が到着すると奉迎祭典後、水田天満宮まで稚児風流を先頭に氏子や小学生約150名に曳かれ、約2キロの行程を終え御本殿にご奉納されました。現在70才前後の皆様は記憶に残っている事と思っております。国難たるこのご時世、菅原道真公に疫病退散・撲滅をお祈りいたしましょう。

